



ふじ美が原

富士見中学校

「困るということは、次の新しい世界を発見する扉である」(トーマス・エジソン)
白鈴祭や新人戦、合唱祭など沢山の行事でも 願いから発想し、
互いに相談し合ったり、アイデアを出し合ったり、協力しチャレンジしてほしい

特集：二学期始業式



力しているし、当然私たちも

【二学期始業式、学校長のお話】
S君、Iさん、G君、三人ともそれぞれ今日から始まる二学期の目標を語ってくれました。目標や願いは人によって違うと思います。君たち一人一人が、今の自分から出さなければいけません。どうなりたいか、どんなことに力を注ぎたいか、それぞれに考えてみてください。
この時間は、昨日までの夏休みについて少しだけ話をし、その後は二学期の学校生活について私が今願っていることを伝えます。
まず何よりも嬉しかったことは、この夏休みの間に、大きなけがや事故がなかったということです。これは何よりもありがたいことです。君たち一人一人が、気を付けるべき時には気を付けて過ごしていたからだと思えます。本当によかったです。
もう一つ、夏休みの間に、卓球部の大会は休み前に行われましたが、中体連の諏訪大会が開催されました。日々の練習によって培ってきた力を発揮してくれたことと思います。
三年生諸君、一つの区切りをつけることはできたでしょうか。私が一つ言っておきたいことは、部活を終えて感じた思い、考えたことは、人によって違う部分があった、ということだと思います。大切なことは、努力できた自分をちゃんとほめてあげること、そして、仲間や家族、先生や外部指導者の方といった自分の取組を支えてくれた存在があったことを理解すること。分かっていると思いますが、この二つはしてください。
さて、二学期のスタートにあたって、私が願っていることを伝えます。
いろいろと考えたのですが、今の状況を考えると、どうしても新型コロナウイルスウィルスのことを抜きに話をするのはできないという結論に至りました。関わって話をします。
通常の学校生活に加え、二学期には、いくつかの行事や節目となる学習活動が予定されています。白鈴祭、三年生の修学旅行、各学年の総合的な学習の時間の活動、中体連の新人戦、合唱祭などです。様々な立場の人が一生懸命努力しているし、当然私たちも

自分のできることは注意して生活しているわけですが、この二学期も、去年までと同じやり方で物事を行っていくわけにはいかない状況です。これは、普通に考えて、やはり困った状況ではあります。しかし、この状況が急激に好転することが見込めない以上、私たちは、この状況下でできることをやりたくしかなければいけません。そこで、お互いにこんな風に頑張っていこう、ということをや二つ話します。
一つ目。願いから発想するということです。例えば白鈴祭です。一学期の終業式でも話しましたが、白鈴祭のテーマである「繋花」には、皆の思いをつなげて花を咲かせたいという願いが込められていると思います。この夏休み中も、生徒会役員の皆さんは、何度も学校で話し合いをし、全校のみんなが同じ場所に集まって一緒に活動することが制限される状況下で、どうやって繋がるかを感じ合おうという目的が果たせるのかについて考えてくれていました。「どうなりたいのか」という願いをもとに、一生懸命知恵を絞ってくれていると思います。
他にも、例えばという例で言えば、校外の人との交流活動も挙げられると思います。交流を深めたことという願いがあった時、それは直接会うことでしょうか果たせないのだろうか。そんなことはないのではないかと思えます。ひよつとしたら、ですが、今どきはほとんどしらない、手紙を書くという方法。思いを伝えるにはとてもいい方法なのかもしれません。
同じ方法ではないから、今までと同じ結果にはならないかもしれない。しかし、違う方法には違う良さもあるかもしれない。結果的にうまくいかなかったらどうするかわからない。チャレンジしてみるわけじゃないですか。先生たちも、「こうすればいい」という答えをもっているわけではありませぬ。だから明確に教えることはできない場面があります。けれど、君たちと共に考えることはできます。「私たちはどうなりたいのか」「お互いに考えていきましょう」。
二つ目。相談し合うということ。今も言った通り、この状況は誰も経験したことありません。正解が分かりません。だからこそ、お互いに知恵を出し合ってください。恵「という言葉があります。文殊というの知恵を司る菩薩様のことなのですが、たと

え凡人であったとしても、三人集まって相談すれば何か良い知恵が浮かぶものだ、という意味です。人と相談しているときに何かを思いつく、ということもよくあることです。
相談、ということでも付け加えますが、アイデアを出し合う、ということだけでなく、困ったことや不安なこと、これもぜひ人に話してほしいと思います。解決策が浮かばない場合もあります。人に話さずだけで気が楽になることもあります。
以上、この二学期の様々な活動を行っていく上で大切にしたいことを二つ話しました。「願いから発想すること」「相談し合うこと」。私自身も心掛けていきたいと思っています。先生方と君たちと力を合わせて乗り切っていきたいと思えます。
では最後に、発明王トーマス・エジソンの言葉を一つ紹介します。
「困るといふことは、次の新しい世界を発見する扉である」
困ることがいろいろあるかと思いますが、困るからこそ、新しい何かが生み出されるのかもしれないですね。
以上で私の話を終わります。

【代表生徒 意見発表】

二学期の抱負

一年二部 S・T

二学期に頑張りたいことは、五つあります。まず一つ目は、提出物です。なぜなら、一学期、提出物が提出できない時が多くて、色々な人に迷惑をかけてしまいました。迷惑をかけないように、二学期は工夫をしていきたいと考えています。例えば、提出物用のクリップファイルを作り、毎日、家に帰ったらそのファイルを確認することを忘れずに行います。この習慣を作ることが二学期の僕の課題です。はじめをつけて取り組んでいきたいです。
二つ目は、勉強です。一学期に期末テストがありましたが、点数が思い通りにとれない教科もありました。勉強法があまり自分に合っていないかったのだと思います。とても悔しかったのですが、このことを次に活かして、自分の合った勉強法を見つけ出していきたくです。一学期よりも良い点を目標としていきたいです。そして、また次のテスト結果が分かっていた時に、分析をしてどんどん次に

なげていきたいです。

三つ目は、委員会の仕事です。一学期には、壮行会がありました。僕は活性化委員として応援をしていました。三年生の皆さんを全力で応援できて良かったです。一学期は、ありませんでしたが、二学期になってベルマーケルマークのナンバーの仕分けは、とても地道な作業です。ですが、その一枚一枚の仕分けが学校生活の一部になっていくと思えば、出来る事は常に全力でやり、少しでも自分自身が役に立てるように頑張りたいです。四つ目は、部活です。僕はサッカー部に入りましたが、まだ入ったばかりで優しきされていきます。二学期に入ってからともしっかりと厳しくなると思います。だから、精神的にきつくなると思いますが、自分自身で決めた入部なので、楽しみながら頑張っていきたいです。そして、二学期になったらだんだん「慣れ」が出てくると思います。そこで、「慣れ」が「ダレ」になってくるかもしれない。慣れてくると、だらけるということがよくあるのですが、できるだけそれを無くすために、いつも真剣に部活を楽しんでうまくやっていきたいです。

五つ目は、行事です。二学期には、行事が予定されています。僕たち、一年二部の学級目標は、「星座」です。ひとりひとりが星のように輝いて、ひとつの星座をつくるという意味が込められています。行事を通して、自分の良さを出しながら、クラスのみんなの心をひとつにしていきたいです。

提出物、勉強、委員会、部活、行事の五つを主に二学期頑張っていきます。そして、この五つ以外にも、あいさつ・清掃・二分前着席・整理整頓・早め移動・歌など学校の三本柱等、二学期からまた心がけてこの学校がより楽しいと思えるように、規則正しく、コロナウイルスに負けない予防対策をして、学校生活を過ごすことが僕のモットーです。

二学期の目標

二年二部 I・M

私の二学期の目標は三つあります。

一つ目は、テストで各教科プラス五点上げることです。そのためには、毎日の積み重ねが大事だと思います。授業では、発言を解して一時間の授業で教えてもらったことを理解

し、家庭学習では、復習を中心に内容を充実させたいです。二学期からは、計画表が配られてからではなく、毎日コツコツと勉強をし、普段から、がんばりたいです。

二つ目は、部活の中での最上級生として、見本となり頼ってもらえるような先輩になることです。夏休み中、三年生の最後の大会となった諏訪大会が終わり、三年生は引退をしまいました。なので、部活の中で最上級生となった今、迷うことや不安なことはあるけれど、生活の全てで当たり前のことは当たり前前にできる、先輩のなりたいです。また、コロナウイルスが流行っている今、部活ができていくことに感謝したいです。

三つ目は、協調性や団結力を身につけることです。二学期には白鈴祭や体育祭、合唱祭といった、行事が行われます。どの行事でも、クラスでの団結力や学年での団結力、学校全体での団結力が必要だと思います。今、コロナウイルス感染拡大防止のため、みなが集まって何かをするのは難しいかもしれませんが、でも、みんなで何かを創り上げるために一人ひとりが同じ気持ちでいることが大切だと思います。みんなの心が一つにならない限り成功しないと思うので、どんなことにも協力できる人になりたいです。

二学期も、一学期のように元の生活には戻らないかもしれませんが、ですが今、学校にきて勉強することが出来る、部活で汗を流してプレーすることが出来るので、この今の時間を大切にしていきたいです。

二学期の目標

三年三部 G・Y

僕は一学期に二つ感じた事があります。一つは、当たり前の日常生活が、どれだけ大切なかが分かったことです。

今年の二月末から五月末まで学校が休校になり、いつものように友達と学校へ通って皆で勉強したり、部活の仲間とテニスが出来なくなってきたからです。しかし、完全に通うことが出来なくなつたのではなく、分散登校で久しぶりに一緒に勉強が出来て、とても嬉しく感じました。

もう一つ感じたことがあります。それは、最後の大会です。僕はテニス部に入っています。目標である県大会がコロナウイルスで開催されなくなりました。諏訪大会で終わ

るといふ悲しい終わり方でした。今まで三年間、テニス部の皆と一緒に頑張ってきたことを、中体連・南信大会・県大会で思う存分発揮したかったです。しかし悲しいことばかりではありませんでした。三年間部活を通して仲間の大切さなどを沢山学べたことです。夏休みに行われた大会で部活も引退しました。

三年生の僕にあと残るのは受験です。今までは、部活と勉強を両立させてきましたが、これからは勉強一択になるので、自分の目標とする高校に行けるよう、時間を大切に使うて頑張っていきたいです。

夏休み中に行われた中体連諏訪大会代替大会の結果をお知らせします。各部とも健闘し、好成績を収めました。

今年、新型コロナウイルス感染防止のため、三月から五月末まで臨時休校、また部活動の練習も出来ない状態でした。中体連等各種大会も中止となり、目標の置きどころが難しい状況でしたが、最後まで前向きに取り組む三年生の姿はとても立派でした。

【男子バスケ部】	一回戦	富士見中	69-20	永明中
	二回戦	富士見中	78-35	諏訪西中
優勝	準決勝	富士見中	55-37	岡谷東部中
	決勝	富士見中	45-36	茅野北部中
【女子バスケ部】	一回戦	富士見中	106-13	諏訪中
	二回戦	富士見中	60-29	岡谷東部中
優勝	準決勝	富士見中	47-28	原中
	決勝	富士見中	49-45	茅野東部中
【バレーボール部】	予選	リグ		
	1位	富士見中	2-0	茅野北部中
準優勝		富士見中	2-0	岡谷西部中
		富士見中	2-0	岡谷東部中
		富士見中	1-2	諏訪西中

【剣道】	K・M 2勝1分
【バドミントン】	S・C 3回戦
	8位入賞
	F・S 2回戦

【軟式野球部】	富士見中	3-0	岡谷南部中
	富士見中	4-0	諏訪南中
準優勝	富士見中	4-5	茅野北部中
【サッカー部】	予選リーグ		
	富士見中	4-0	社・下諏訪中
第4位	富士見中	3-0	諏訪中
	1位グループ順位決定戦		
	富士見中	0-2	岡谷北部中
	富士見中	0-1	岡谷東部中
【女子テニス部】	団体戦	2勝2敗	
ブロック2位	小林/安田、相田/内藤	ベア1回戦	
	加々見/小池	ベア2回戦	
【男子テニス部】	団体戦	3勝1敗	2位
	春山/花村	ベア3位	
準優勝	杉山/久保田、五味/植松、		
(直接対決の結果)	樋口/根田	ベア	ベスト8

保護者の皆様へ
夏休み中に県外へ出かけられたり、県外の方が見えなくなったことに関わって、ご心配なこと等がある場合は、学校まで遠慮なくお知らせください。

富士見町立富士見中学校
諏訪郡富士見町富士見四六五四番地
TEL 〇二六六一二二〇〇九
FAX 〇二六六一二七四〇九
担当 油井 彰